

## 2017年度 第6回レフェリー塾のご案内

1. 目的： 関西協会および関西各府県協会所属の意欲ある審判員に対して、自主的な研修・研鑽の場を提供し、審判技術の向上、知識の充実、モチベーションの増強をはかる。
2. 参加資格： 関西協会および関西各府県協会 所属審判員 ならびに インストラクター
3. 日程： 2017年5月～2018年3月（8月を除く）、全10回 各月の第4木曜日 19:00～21:00  
5/25, 6/22, 7/27, 9/28, 10/26, 11/23, 12/28, 1/25, 2/22, 3/22
4. 会場： (大阪市内・毎回参加者にメール等で通知)
5. 参加料： 通年2,000円 ※ユース審判員は1,000円  
(初回参加時に徴収させていただきます)
6. 講師： (一社) 関西サッカー協会審判委員会  
育成部長 大歳 和法 ほか 1級審判員、各級インストラクター、各界有識者など
7. 追加申込： 途中からの参加も可能。(参加料は通年と同じ)
8. 申し込み方法： 以下の各項目を明記の上、担当大歳まで事前申し込みをして下さい。  
①氏名 ②所属府県 ③審判資格(級) ④メールアドレス ⑤携帯電話番号  
追加申込・その他 レフェリー塾に関するお問い合わせ 担当；大歳 [ohotoshi@r3.dion.ne.jp](mailto:ohotoshi@r3.dion.ne.jp)

### 第6回 11/23(木・祝)のレフェリー塾は「秋の遠足」です。

おかげ参り(伊勢参り)に使われたという、伊勢参宮本街道；大阪(玉造)から伊勢に通じる道のうち、玉造から暗峠(くらがりとうげ)を越えて奈良までの約31キロを歩こうという計画です。朝9:00に玉造に集合して奈良を目指します。詳しい案内は近日中に遠足実行委員会が作ってくれたものをみなさんにお届けする予定です。レフェリー塾の塾生、ご家族、お知り合いお誘いあわせのうえご参加ください。遠足のみの参加の場合はレフェリー塾の年間参加料は不要です。(参加中の事故は自己責任ですから念のため)長〜い、険しい道も一步一步の積み重ね、一人では巡り合うことのない体験を仲間と味わいましょう。



#### 5回目(10月)はこんなことをしました

今回は「凡」と「非凡」というテーマで話をしてもらいました。「凡」というと平凡、可もなく不可もなくというイメージが思い浮かびますよね。あるレフェリーは評価点「8.0」というイメージだと発言。これに対して、ひとりのインストラクターは8.0というのはほとんどの場合、7.95だと思った方がいいですよと応酬。

「凡例」なんて言葉もありますね。「凡」には、全体とか一般的という意味もあるようです。そういう意味では、審判の判定は「凡」であるほうが良いようです。

このテーマ、実はNHKの大河ドラマの中のセリフにヒントがあったんです。井伊直虎が徳川家康のことを「家康さまのようなお方を非凡なる凡というのではないのでしょうか。おのれが凡人であることをふまえ、決しておごらず、そのうえで何をなすべきかを捉え、やるべきことを積み上げていかれる。凡なることを着実になしえていくお方はやはり非凡なのではないかと・・・」

人はみな「凡」なる存在から一歩でも「非凡」な存在になることを目指して努力しているのだと思います。しかし、「凡」であることの大切さ、あたりまえのことをあたりまえに積み重ねていくことの大切さを感じさせられました。レフェリングも・・・。(大歳)